

## 3D都市モデルの活用等について

### 1 令和7年度の業務の進捗

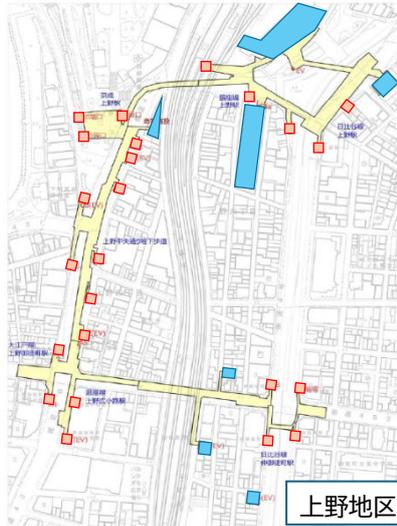
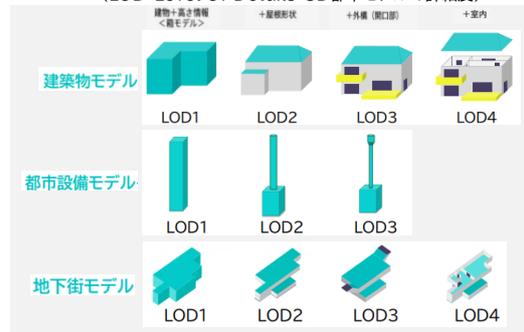
#### (1) 3D都市モデル整備

令和6年度に実施した区全域の建築物等3D都市モデル整備に引き続き、今年度は上野地区及び浅草地区の地下部分等を新たに整備した。

主な3D都市モデル整備内容

整備内容	詳細度等
地下街	LOD4
地下街出入口がある建築物 (建築物)	LOD3
道路上にある地下街出入口 (都市設備)	LOD3

LODの概念図(国土交通省 HP より)  
(LOD:Level Of Details:3D都市モデルの詳細度)



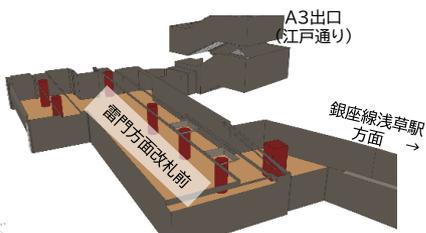
上野地区



浅草地区



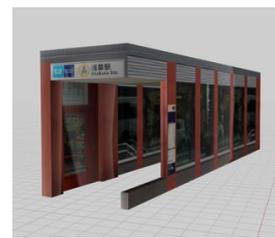
令和7年度 主な3D都市モデル整備範囲図  
(昨年度には区全域の建築物LOD2整備を完了)



地下街3D都市モデル  
(都営浅草線浅草駅)



建築物3D都市モデル  
(東京メトロ浅草駅の  
出入口がある建築物)



都市設備3D都市モデル  
(雷門通り地下街出入口)

## (2) 3D都市モデルの活用（避難シミュレーション）

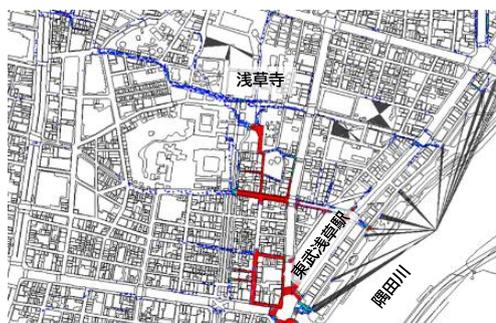
GPSデータ及び実地計測調査等により上野地区及び浅草地区における滞在人口を推計した後、解析ツールを使用して帰宅困難者の避難シミュレーションを実施し、3D都市モデルを組み合わせ、映像資料を作成した。なお、対策を講じた場合における各地区の避難シミュレーション及び映像資料作成を年度内に実施予定。



解析ツールによるシミュレーション結果  
(上野地区)



シミュレーション映像キャプチャ  
(上野地区)



解析ツールによるシミュレーション結果  
(浅草地区)



シミュレーション映像キャプチャ  
(浅草地区)

## (3) 防災分野における活用

危機・災害対策課が実施している以下の会議において、作成した映像を活用することで、参加者に対する解析結果の理解の浸透を図った。

会議名	実施年月	参加人数
上野駅周辺滞留者対策推進協議会	令和7年12月	各地区
浅草地区帰宅困難者対策推進協議会	令和7年10月	50名程度

※ 各会議の主な参加者：町会、商店会、鉄道事業者、関係行政機関など



上野駅周辺滞留者対策推進協議会



浅草地区帰宅困難者対策推進協議会(企画部会)

## 2 令和8年度の主な取り組み等

3D都市モデルは、本区のスマートシティ実現に向けた公共インフラであるため、活用が進むことでモデルデータが更新・充実し、さらなる活用が促進される。こうした好循環を生み出すことにより、3D都市モデル自体の価値が高まるものである。

今後は、3D都市モデルの活用を拡大するとともに、それを支える環境を整備する。これにより、データの更新頻度を高め、高いデータ鮮度・精度を確保し、庁内各業務の効率化・高度化及び区民サービスの向上を図る。

### (1) まちづくり分野における3D都市モデルの活用

上野地区及び浅草地区のまちづくりにおける歩行者・自動車交通量調査検討業務等において活用する。

### (2) さらなる活用拡大に向けた検討

3D都市モデルの利用層を広げるため、試行的活用による課題抽出を行い、多分野における活用事例及び庁内の推進体制を整理する。

### (3) その他

地域課題の早期発見、意思決定の迅速化及び効果的な政策立案を促進する「可視化・分析ツール」としての確立を目指し、3D都市モデルのデータに関する仕組み作り（共通管理基盤の構築等）を進める。

## 3 予算額（案）

歳入	27,755千円
歳出	65,300千円

## 4 今後の予定

令和8年5月 産業建設委員会にて令和7年度業務結果報告